

石川県立自然史資料館の平成30年度管理状況

様式2

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	特定非営利活動法人 石川県自然史センター 理事長 高木 政喜
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
中期経営目標 (H29～R3)	①入館者数を5年間で7,000人に増加させます。 ②出前講座、野外活動等の館外事業を積極的に実施することにより、館外事業の参加者数を5年間で1,300人に増加させます。 ③利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座やブースを設けて展示するなど、館外事業を積極的に実施した。(29件実施 参加人数2,229人) ・ 毎朝の打合せや全体会議及び学芸員会議(各月1回)で開催イベント等の共通理解をはかり接遇向上に努めた。 ・ 利用者アンケートの意見を生かし、より見やすい展示、わかりやすいチラシ等の作成に努めた。 ・ 普及講座「アンモナイトのレプリカ作り」や環境問題について考える講演会「「虫けら」なんてなんで守るの?」などを、計24回実施(参加人数361人) ・ 「危険外来種」の基礎知識、防除戦略、市民もできる活動を学ぶ特別講演会「外来生物対策の最前線」の実施(参加人数85人) ・ 企画展「石灰岩とその一部になった生き物たち」「花のヒミツ」「日本海のエビ・カニ ～分類・生態から食文化まで～」の開催(参加人数4,622人) ・ ミニ展示「石川の地学シリーズ1 海綿化石」 ・ 東京大学総合研究博物館・金沢大学資料館・石川県立自然史資料館共催特別展示「アートか、サイエンスかー知られざる四高遺産から」を実施
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設紹介のためのリーフレットや企画展の開催等のチラシ等の配付 ・ 学校・公民館等施設を直接訪問し団体向けプログラムによるPR

(2) 令和元年度における取組内容の見直し等

実施内容	
①自然関係施設等との連携し、利用促進に向けた新たなイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画「オープンミュージアム」 普段公開されていない標本を見学するバックヤードツアーや生態学、環境、農業などの専門家によるワークショップなどの実施 ・石川県森林公園共催「めざせ！里山ネイチャーマイスター」 野外体験を通じて里山に住む生物への理解を深めるイベントを実施 ・いしかわ子ども交流センター共催「ちきゅうのおはなし」 小学校低学年を対象に、簡単なクイズや実験を含めた講義を実施
②小中学校の活用を促進するため、授業等に対応したプログラムを作成し、学校関係者等への周知を図る。	

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H27年度 (基準値)	H29年度	H30年度	前年度比	基準値比	R3年度 (目標値)	
(1) 入館者数 (人)	5,022人	6,281人	5,560人	88.5%	110.7%	7,000人	
(2) 館外事業参加者数 (人)	1,218人	1,279人	2,229人	174.3%	183.0%	1,300人	
(3) 利用者アンケートにおける満足度							
利用者サービス (%)	100.0	95.8	98.2	2.40ポイント	-1.80ポイント	95.0	
施設の維持管理 (%)	98.0	99.0	98.6	-0.40ポイント	0.60ポイント	95.0	

※基準値は中期経営目標における基準値

<入館者数、館外事業参加者数など利用指標に係る増減理由>

指標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
入館者数	企画展の入館者が減ったことによる。	ダイオウイカの展示 (H28～) により入館者が増加したが、その効果が一定程度続いており、基準値と比べて入館者増になった。
館外事業参加者数	石川県森林公園の「MISIAの森」での出前教室、「いしかわの里山里海展」でのヒアリ対策に関する展示など館外事業を積極的に取り組んだため。	同左

<利用者アンケート結果 (通年実施 有効回答数82件) >

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	59.6	38.6	1.8	0.0
施設の維持管理 (%)	61.1	37.5	1.4	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	日常清掃：週2回 定期清掃：年2回 硝子清掃：年2回 産業廃棄物処理：月2回
(2) 設備保守点検	自家用電気工作物保安：(月1回、絶縁試験など年1回) 消防用設備保守点検：年2回 昇降機保守点検：月1回 空調保守点検：年2回 衛生管理(受水槽など)：年1回
(3) 植栽維持管理	年2回の一斉除草
(4) 警備	施設全体の警備及び駐車場の管理(毎日) 防犯警備(夜間は機械警備)
(5) 小規模修繕	空調機器、電気設備等の修繕

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・危機管理マニュアルの策定 ・消防訓練の実施(年2回実施)
(2) 個人情報の管理状況	基本協定に基づき適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績(利用料金の収入及び減免の状況)

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
該当なし			
合計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	42,852	人件費	24,044
利用料収入		光熱水費	7,892
その他		修繕費	167
		その他	10,749
合 計 ①	42,852	合 計 ②	42,852
収支差額 ①-②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成30年5月	イベント（特に大人向け）を頻繁に開催してほしい	「オープンミュージアム」など大人まで楽しめるようなイベントを企画した。
平成30年6月	掲示物・展示物の漢字にルビがあると小さい子供にもわかりやすいと思う。	掲示物・展示物のルビを増やした。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし		

8 その他報告事項など

--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他団体と連携し、出前教室や館外での展示などに積極的に取り組み、館外事業参加者数が増加している。また、利用者の満足度も高水準を維持している。 ・ 各種講座や企画展について、近隣市町や学校、公民館等への訪問やホームページへの掲載など広報活動を行っている。 ・ 小中学校の授業等に対応したプログラムを作成し、市町教委や学校への周知を進めるなど更なる利用増につながる取組を期待している。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内は常に清潔に保たれているほか、修繕等については、利用者の安全や利便性を考え迅速に対応するなど適切に管理が行われている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。 ・ 個人情報については職員に周知徹底が図られており適切な情報管理が行われている。 ・ ボランティアを積極的に受け入れ、普及講座等において利用者にきめ細やかに対応できるような体制づくりに取り組んでいる。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書等に基づき適切な管理運営がなされており、今後も適正な管理とさらなる利用促進に向けた取組を期待する。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項